

第一回 一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会 次第

日 時：令和4年7月29日（金）午後1時30分から

場 所：健康福祉センター（いかまい館）2階 研修室

1. 開会

2. 本委員会について

3. 市長挨拶

4. 委員長の互選

5. 副委員長の指名

6. 議事

（1）一宮地区公共施設再編整備基本構想について

- ・基本構想の概要 (資料2・3)
- ・住民、施設利用者アンケート結果 (資料4-1・4-2)
- ・再編対象施設の課題 (資料5)

（2）本年度の検討内容について

- ・検討スケジュール (資料6)
- ・ワークショップの開催について (資料7-1・7-2)

（3）再編整備プランの検討

- ・ゾーニング・プラン案 (資料8)

7. その他

- ・施設整備に関する基本的な考え方 (資料9)

8. 閉会

【配布資料一覧】

- 資料1 一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会設置要綱及び委員名簿
- 資料2 一宮地区公共施設再編整備基本構想
- 資料3 一宮地区公共施設再編整備基本構想（概要版）
- 資料4 -1 住民アンケート結果
-2 利用者アンケート結果
- 資料5 再編対象施設の課題
- 資料6 検討スケジュール
- 資料7 -1 ワークショップ募集チラシ
-2 一宮地区公共施設再編検討にかかる住民ワークショップ構成（案）
- 資料8 ゾーニング・プラン案の比較検討資料
- 資料9 施設整備に関する基本的な考え方等

（連絡先）

〒442-8601 豊川市諏訪1丁目1番地
担 当 総務部財産管理課 伊藤/深谷
電 話 0533-89-2108（内線 1375）
F A X 0533-89-2163
E-mail zaisan@city.toyokawa.lg.jp

一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会設置要綱

(趣旨及び設置)

第1条 この要綱は、平成27年度に策定し、令和2年度に改訂した「豊川市公共施設適正配置計画」により決定した公共施設の再配置計画及び一宮地区公共施設再編整備基本構想を踏まえ、一宮地区公共施設再編整備基本計画の検討や地元住民等との合意形成の推進を図るため、一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置し、その事務について必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 委員会は、一宮地区公共施設再編整備基本計画の策定に関する事項について、調査、検討及び審議を行う。

(組織)

第3条 委員会は、委員12人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 各種団体を代表する者
- (3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める者

3 第1項に規定するほか、市長が必要と認める者をオブザーバーとして置くことができる。

(任期)

第4条 委員の任期は、前条の規定により市長が委嘱した日から1年以内とする。

2 委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

2 委員長は委員の互選により選出し、副委員長は委員長が指名する。

3 委員長は、会務を総理し、委員会を代表するとともに、委員会の会議（以下「会議」という。）の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

2 委員会は、委員の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(作業部会)

第7条 委員会は、委員長が指定した専門的事項を調査研究させるため、作業部会を置く。なお、豊川市ファシリティマネジメント推進会議（平成28年5月17日施行）を充てる。

2 作業部会は、別表に掲げる部会員によって構成する。

3 作業部会に部会長を置き、総務部次長をもって充てる。

4 部会長は、作業部会の事務を掌理し、作業部会の経過及び結果を委員長に報告するものとする。

(意見等の聴取)

第8条 委員会や作業部会は、必要があると認めるときは、委員又は部会員以外の者を会議に出席させ、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第9条 委員会及び作業部会の庶務は、総務部財産管理課において処理するものとする。

(雑則)

第10条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年7月1日から施行する

(第7条関係)

豊川市ファミリーマネジメント推進会議会員名簿

役 職	所 属		職 名
会長	総務部		次長
	企画部	企画政策課	課長級のうち会長が指名する者
	総務部	財政課	
	福祉部	福祉課	
		介護高齢課	
	子ども健康部	子育て支援課	
		保育課	
		保健センター	
	市民部	市民協働国際課	
		人権交通防犯課	
		文化振興課	
		一宮支所	
		音羽支所	
	市民部	御津支所	
		小坂井支所	
		小坂井支所	
	産業環境部	商工観光課	
	建設部	建築課	
	都市整備部	公園緑地課	
	消防本部	総務課	
	教育委員会	庶務課	
		生涯学習課	
スポーツ課			
中央図書館			
その他会長が必要と認める課			

【資料 2】一宮地区公共施設再編整備基本構想
ホームページ上の基本構想をご確認ください。

一宮地区公共施設再編整備基本構想【概要版】

1 はじめに

背景及び目的

本市では、公共施設の適正配置と長寿命化を推進しており、豊川市公共施設適正配置計画(令和2年6月改訂)では、リーディング事業の1つとして「一宮エリアの施設再編プロジェクト」を位置付け、一宮地区の公共施設を再編する「(仮称)一宮コミュニティネットワーク構想」の実現に向けて取り組むこととしています。基本構想では、一宮地区の拠点としてふさわしい施設整備のあり方を示すことを目的とします。

2 一宮地区の公共施設の現状と課題

(仮称)一宮コミュニティネットワーク構想の位置付けと概要

一宮地区の公共施設は、以下の様な課題を抱えています。これらの課題解決のため、早期の公共施設再編整備が求められています。

<エリアの現状>

- 施設の老朽化、劣化の進行
- 施設利用率が低く、施設の立地に課題がある

<エリアの課題>

- 維持管理費の増加、施設の在り方検討の必要性
- 適正配置の必要性

一宮地区の公共施設の配置及び概要

一宮地区の公共施設のうち、立地、敷地の確保、セキュリティの確保などの点で制約が大きい小中学校及び保育園等を除いた6施設を再編の対象とします。



一宮地区の公共施設再編に係る住民アンケート

令和2年10月に一宮地区在住の18歳以上の男女1,000人を対象に、一宮地区における公共施設再編の考え方などについてアンケート調査を実施しました。アンケート回収率は50.8%(508票)でした。

◆結果の抜粋

公共施設集約の
考え方

「できるだけ機能を集約し、1つの中心的な拠点を整備すべき」(25.9%)
が最も多く選択されました

集約対象施設の
優先度

- ①「利用者数や利用率の低い施設」(28.7%)
- ②「機能が重複している施設」(19.3%)
- ③「維持や改修に多額の費用がかかる施設」(18.9%)

複合施設が
どんな場所に
なれば良いか

- ①「子どもから高齢者まで様々な世代が集まって交流できる場」(61.2%)
- ②「子育て世代の拠り所となる場」(27.2%)
- ③「高齢者がいきいき活動できる場」(24.6%)

複合施設にどんな機能や
サービスがあると良いか
についても聞きました

- ◎喫茶店・カフェ・飲食店、◎屋内施設(体育館、ジム・ヨガ教室 など)
- ◎屋外施設(遊歩道、芝生広場 など)、◎交通機関の充実・アクセスしやすさ
- ◎買い物(スーパー・ショッピングモール など)
- ◎子どもが遊んで学べる施設(安心して遊べる場所 など)

3 対象敷地

敷地概要

新施設の立地は、利便性、歴史性、都市計画の方向性等を踏まえ、現在の一宮庁舎等の敷地への整備が望ましいと考えられます。

一宮庁舎等敷地の概要と現在の利用状況については、以下のとおりです。

敷地概要		現在の利用状況の図	
敷地面積	12,263.55 m ² (消防署一宮出張所の敷地(1,084.29 m ²)は除く)		
用途地域	第2種住居地域 (建蔽率 60%、 容積率 200%)		
備考	・市有地 ・駐車台数131 台(公用車等 64 台分含む)		

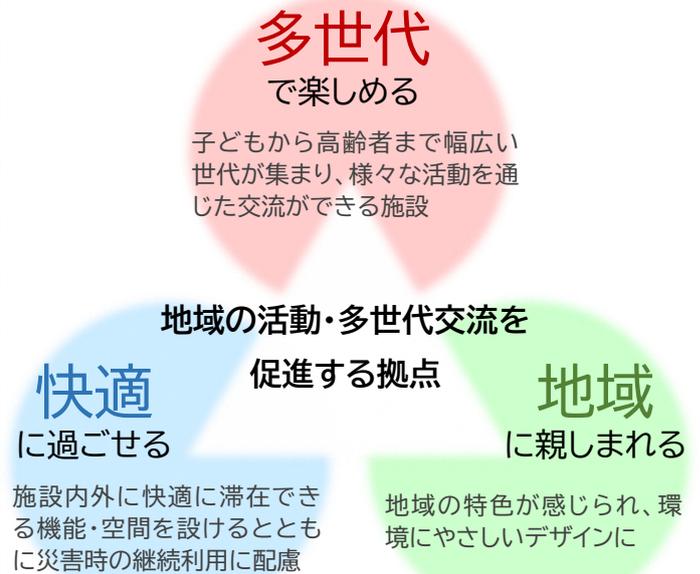
4 新施設の考え方

再編全体の方向性

市全体の公共施設マネジメントの方針に沿った考え方

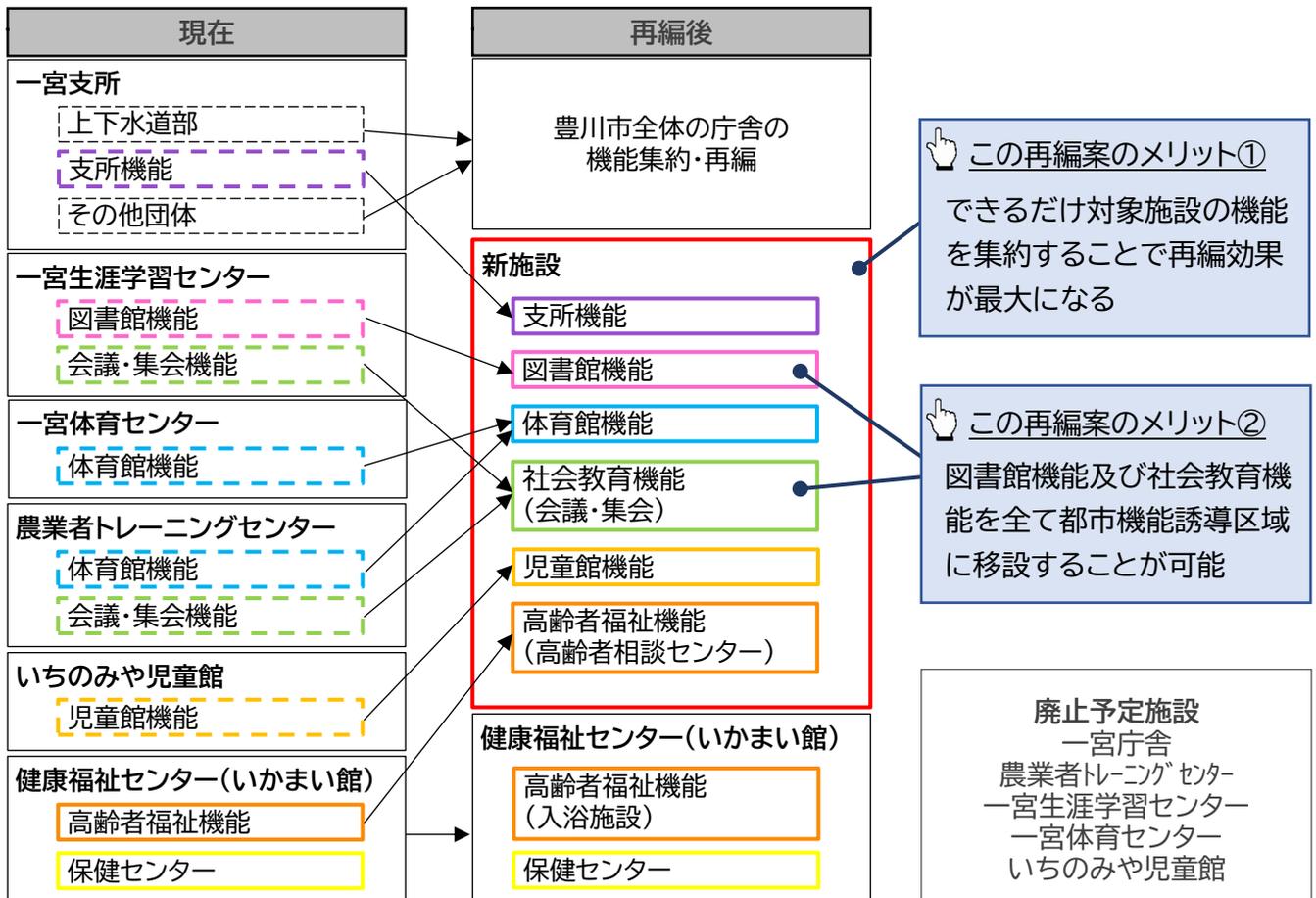
- 保有面積とトータルコストの縮減に寄与する（豊川市公共施設適正配置計画）
- 図書館・生涯学習センターは、都市機能誘導区域への誘導に配慮する（豊川市立地適正化計画）
- 施設の利用率、エリア内で重複する機能、今後の維持や改修にかかる費用などを考慮し、複合化等する施設を検討する（豊川市公共施設適正配置計画）
- SDGs の「11.住み続けられるまちづくりを」に資する取組とする

一宮地区の“地域の活動や多世代交流が促進”されるような拠点を創造するための考え方



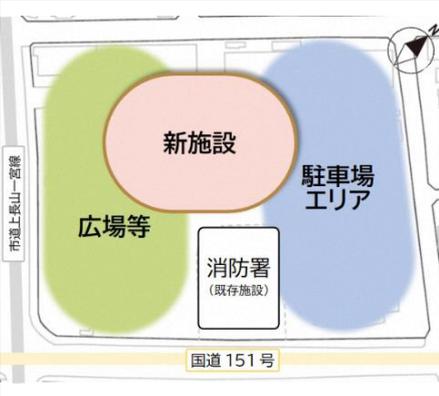
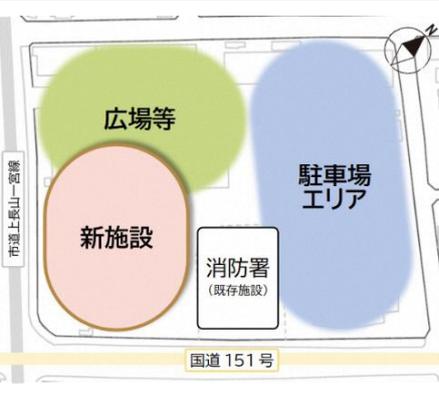
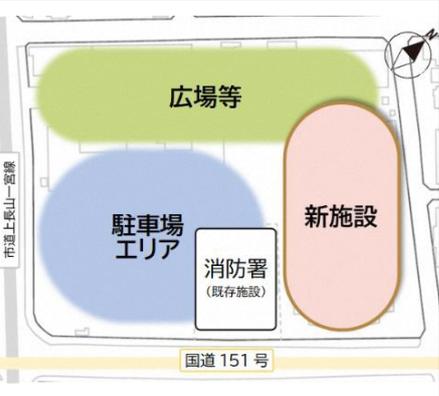
再編パターン

複数案を比較検討した結果、下図の再編パターンを進めることとしました。



新施設のゾーニング

敷地内での新施設の配置について、複数パターンを比較検討しました。ゾーニングについては、これまでの議論も踏まえつつ、基本計画以降も検討を続けます。

パターン A	パターン B	パターン C
新施設の利便性、シンボル性を重視した配置 (敷地中央に新施設を配置)	新施設の利便性及びシンボル性と既存機能の継続使用に配慮した配置 (敷地南西側に新施設を配置)	既存機能の継続使用に配慮した配置 (敷地東側に新施設を配置)
		
<p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ○新施設及び広場等が国道等に向いており、にぎわいや雰囲気が行き来者にも伝わりやすい ○広場等と駐車場への歩行距離が比較的短い ○工事中も農トレが利用可能 	<p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業費や庁舎機能の移転時期等より、適した方法が選べる ○広場等と駐車場の一体利用が図りやすい ○旧一宮庁舎を継続使用したまま新施設の建設が検討可能 	<p><メリット></p> <ul style="list-style-type: none"> ○事業費や庁舎機能の移転時期等より、適した方法が選べる ○広場等と駐車場の一体利用が図りやすい ○旧一宮庁舎を継続使用したまま新施設の建設が可能

5 今後のスケジュール

今後、令和7年度以降の工事開始を目指して、基本計画の策定及び基本設計・実施設計を行っていきます。また、既存機能の移設等についても検討を進めていきます。

年度	新施設整備	その他
R2 R3	・基本構想の策定(今回の検討)	
R4	・基本計画の策定 ○新施設の諸室・規模等、建設工法・事業手法 等	・既存機能の移設等について検討
R5 R6	・基本設計、実施設計	
R7 以降	・工事 事業手法などによって変動有り	・工事進捗に合わせて機能移転等を実施
	供用開始	

一宮地区公共施設再編整備基本構想【概要版】

発行: 令和3年8月 豊川市総務部財産管理課

電話: 0533-89-2108 FAX: 0533-89-2163

<https://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/index.html>

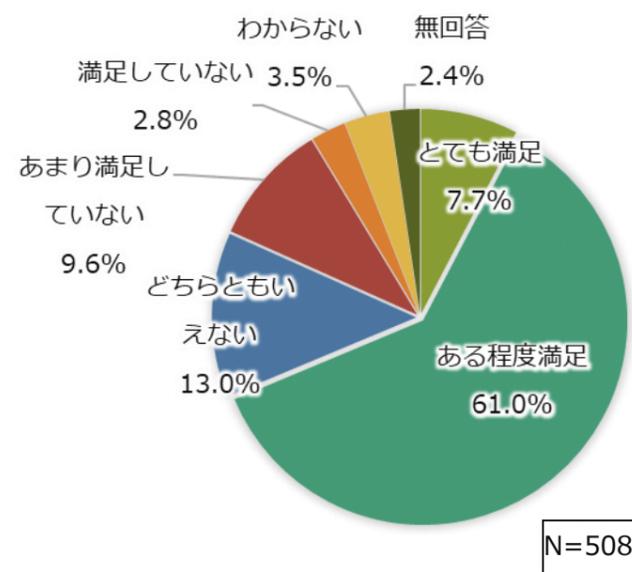
一宮地区公共施設再編整備基本構想策定に関する住民アンケート結果について

一宮地区公共施設再編整備基本構想策定に関する住民アンケート結果の概要は以下のとおりです。
 (対象：一宮地区在住 18 歳以上の男女 1,000 人を無作為抽出、508 票回収 (50.8%))

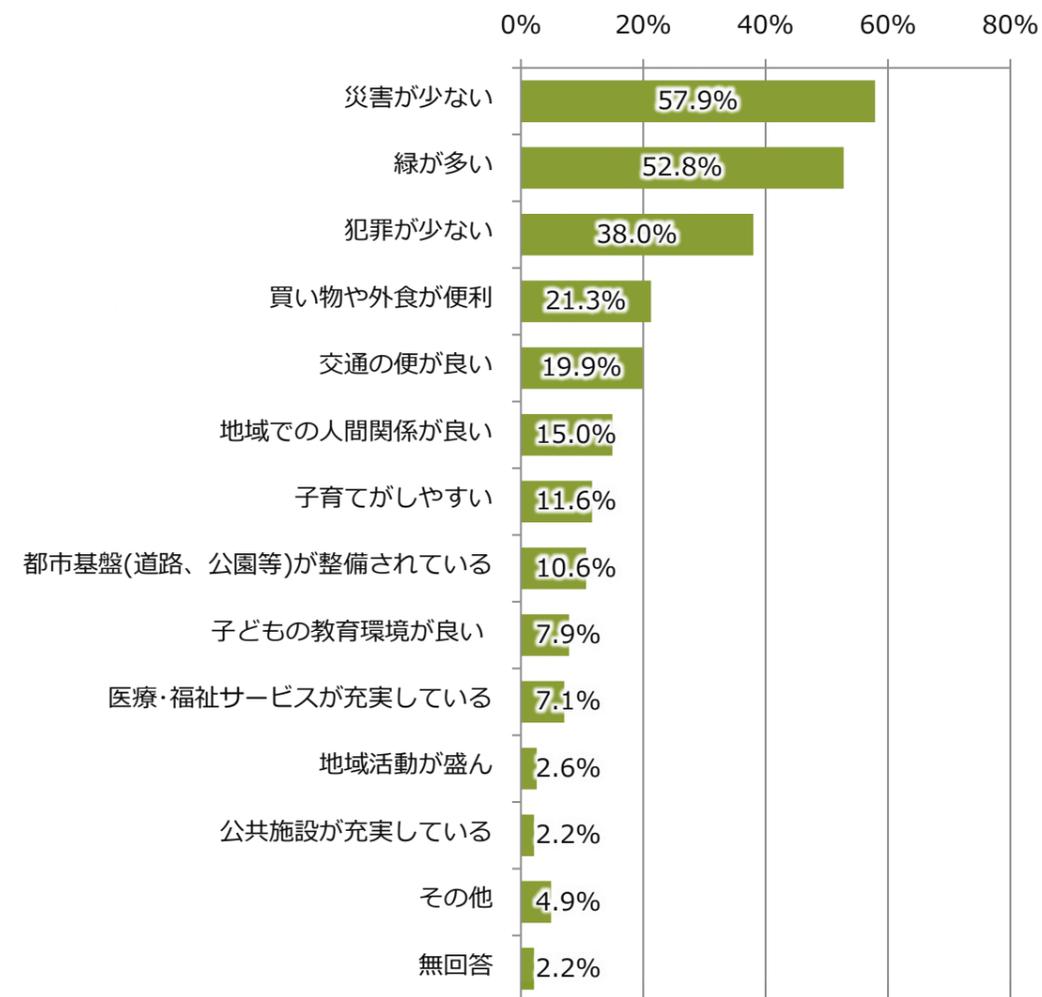
1. 一宮地区のまちづくりについて

- 一宮地区の暮らしやすさについては、全体的な満足度が「とても満足」または「ある程度満足」と回答した人が全体の約 7 割となっています。
- 一宮地区の良いところ（魅力、より伸ばしたい点）としては、「災害が少ない」、「緑が多い」及び「犯罪が少ない」が多く選択されており、自然が多く安全で安心して生活できる点が一宮の魅力であると考えられます。
- 一宮地区のなおしたいところ（不足、改善点）としては、「交通の便が良くない」、「買い物や外食が不便」、「公共施設が充実していない」の順で多く選択されており、生活の利便性において不満を持っている人が多くなっています。

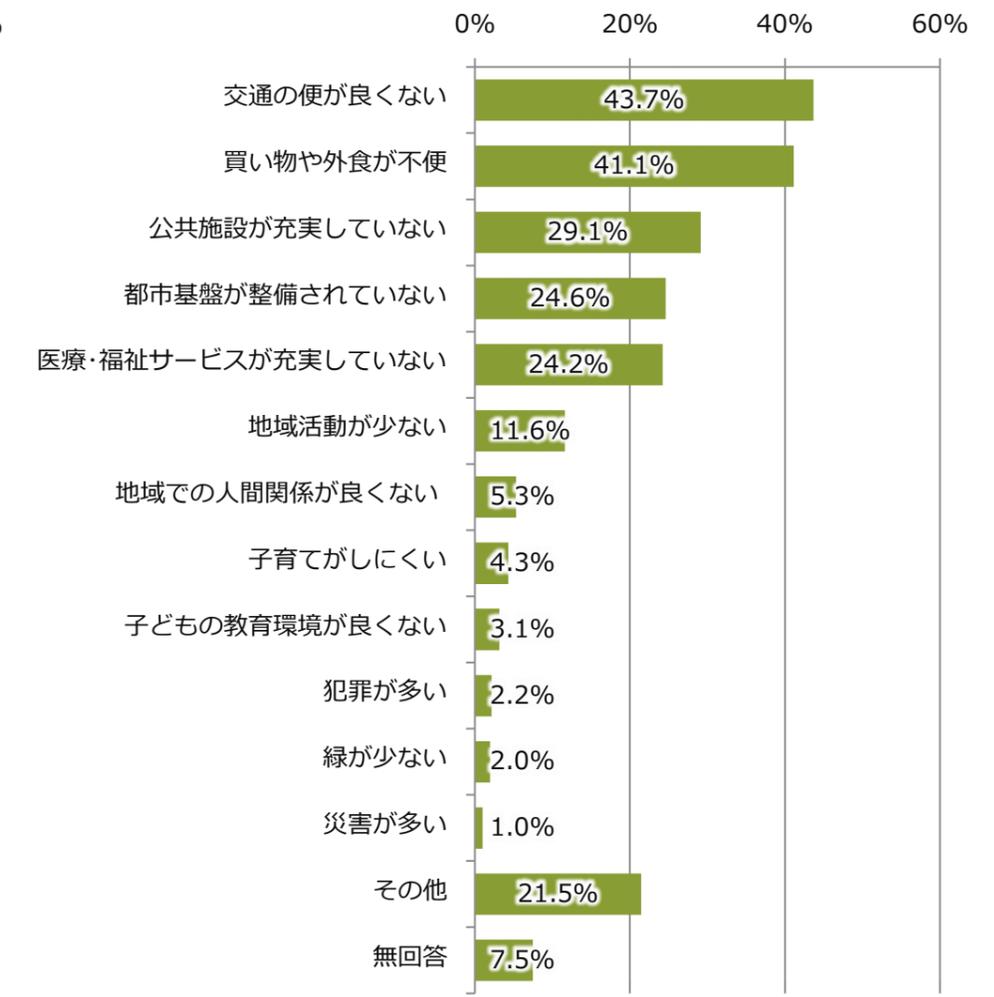
【問2】一宮地区の暮らしやすさについての全体的な満足度



【問3】一宮地区の良いところ(魅力、より伸ばしたい点)<複数回答>



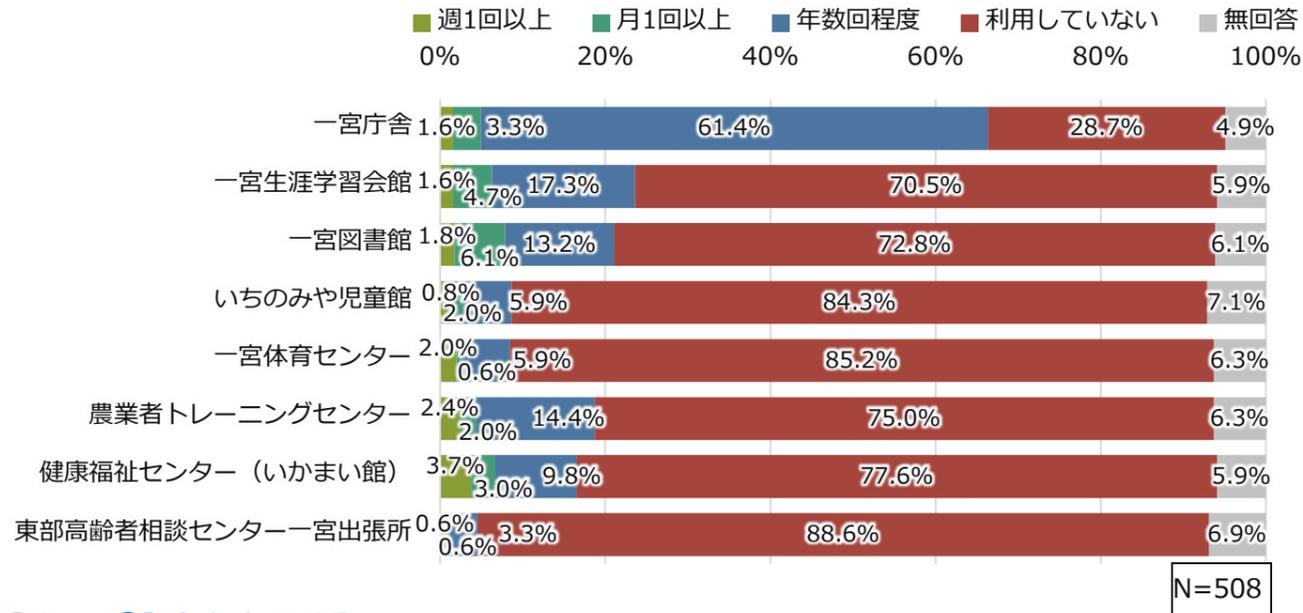
【問4】一宮地区のなおしたいところ(不足、改善点)<複数回答>



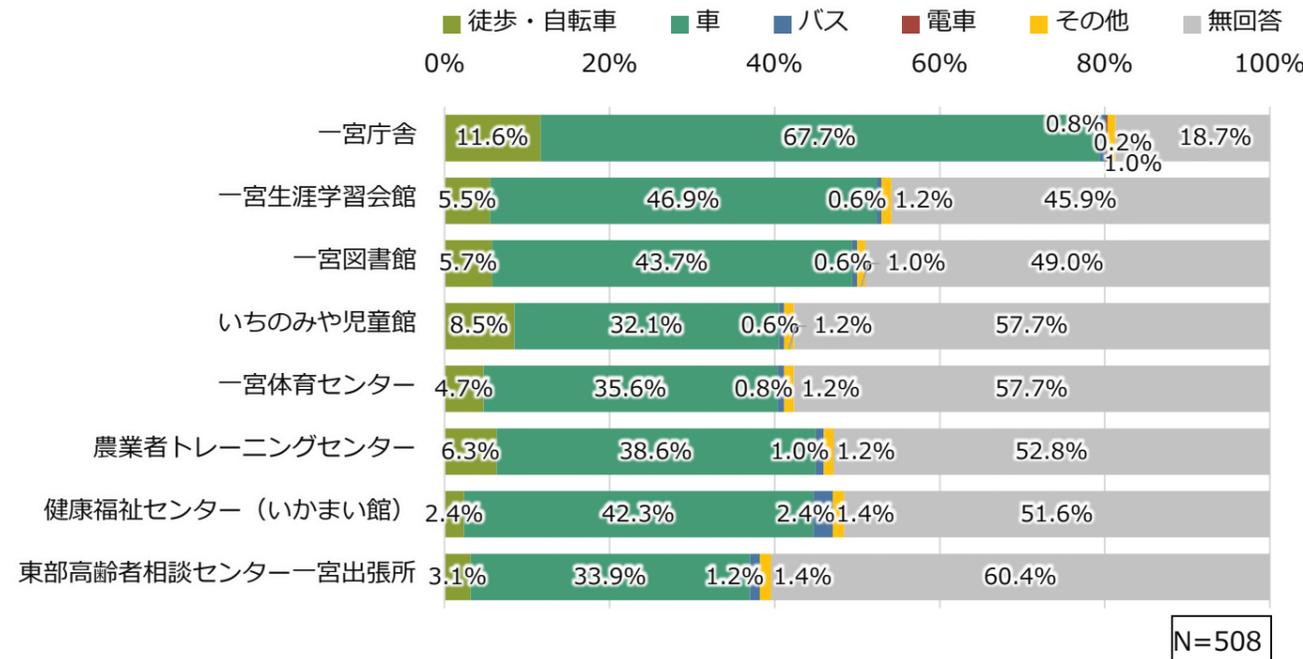
2. 公共施設の利用について

- 一宮庁舎は、「年数回程度」以上の頻度で利用している人が約7割ですが、それ以外の施設（一宮生涯学習会館、一宮図書館、いちのみや児童館、一宮体育センター、農業者トレーニングセンター、健康福祉センター（いかまい館）、東部高齢者相談センター一宮出張所）については、7割以上の人々が「利用していない」と回答しており、全体的に利用頻度が低いことがわかります。
- 各施設への主な交通手段は、「車」が圧倒的に多く、次いで「徒歩・自転車」となっています。「バス」と回答した人は最多で健康福祉センター（いかまい館）の2.4%、「電車」と回答した人は一宮庁舎で0.2%となっており、公共交通機関の利用率が低い状況です。
- 各施設の満足度については、サービス内容、施設の広さ及び老朽度、立地に関する意見が多く、今後の公共施設整備においても重要なポイントになってくることが考えられます。

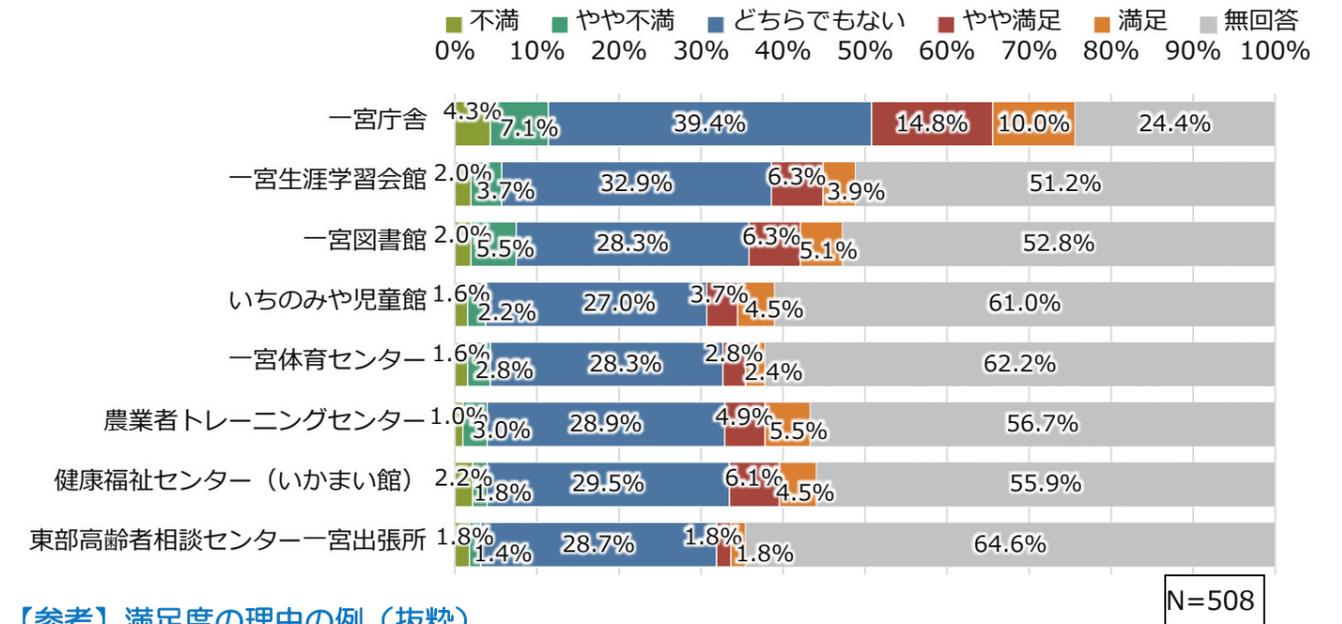
【問5-①】 あなたの最近1年間の施設の利用頻度



【問5-②】 主な交通手段



【問5-③】 満足度



【参考】 満足度の理由の例（抜粋）

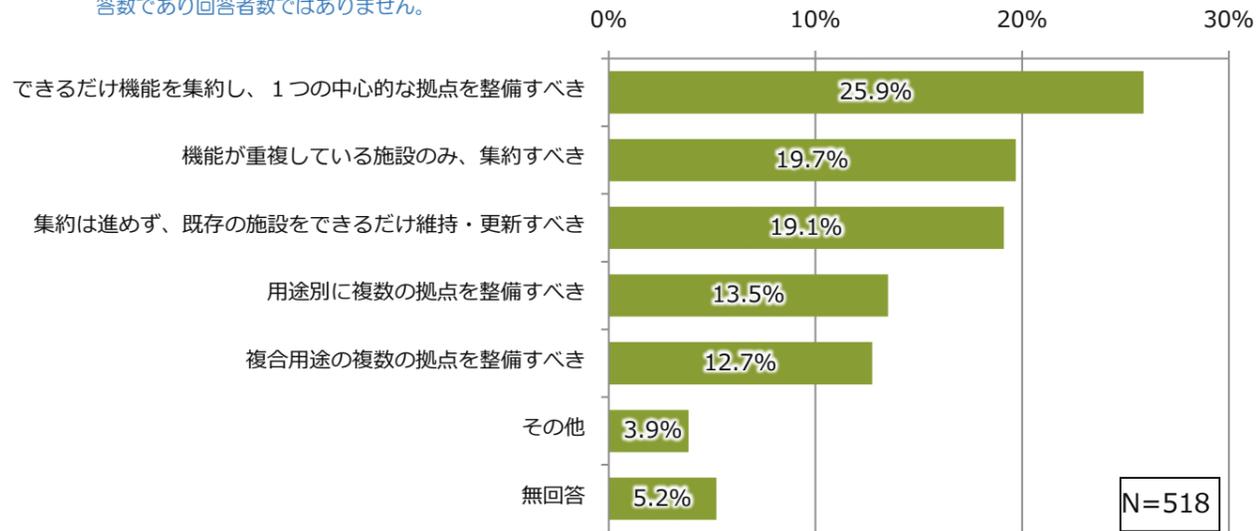
- (サービス内容)
- ◇満足・やや満足
 - ・職員の対応が良い（一宮庁舎、一宮生涯学習会館）
 - ・混んでいない（一宮庁舎）
 - ・子どもにとってよい施設（いちのみや児童館）
 - ◇不満・やや不満
 - ・図書が少ない（一宮図書館）
 - ・予約がとれない。好きな日に利用できない（農業者トレーニングセンター）
- (施設の広さ及び老朽度)
- ◇満足・やや満足
 - ・いろいろなサイズの部屋があり良い（一宮生涯学習会館）
 - ・駐車場が広くて便利（農業者トレーニングセンター）
 - ◇不満・やや不満
 - ・暗い（一宮庁舎）
 - ・学習机が少ない（一宮図書館）
 - ・建物が古い（一宮体育センター）
 - ・駐車場が少ない、狭い（いちのみや児童館、一宮体育センター）
- (立地)
- ◇満足・やや満足
 - ・近くて良い（農業者トレーニングセンター）
 - ・近くて便利（一宮図書館）
 - ◇不満・やや不満
 - ・遠い（一宮生涯学習会館）
 - ・車がないと行けない（健康福祉センター）

3. 公共施設の再編について

- 公共施設の集約については、「できるだけ機能を集約し、1つの中心的な拠点を整備すべき」が最も多く、集約対象施設の優先度としては、「利用者数や利用率の低い施設」、「機能が重複している施設」、「維持や改修に多額の費用がかかる施設」という意見が多くなっています。
- 将来の複合施設については、「子どもから高齢者まで様々な世代が集まって交流できる場」、「子育て世代の拠り所となる場」、「高齢者がいきいき活動できる場」の順で回答が多く、「多世代に利用され世代を超えた交流ができる場を提供することが期待されています」。また、そのための機能として、「カフェなどの「飲食・休憩する場所」、広場や運動施設などの「スポーツ・レジャー」のような機能を求める意見が多くなっています。

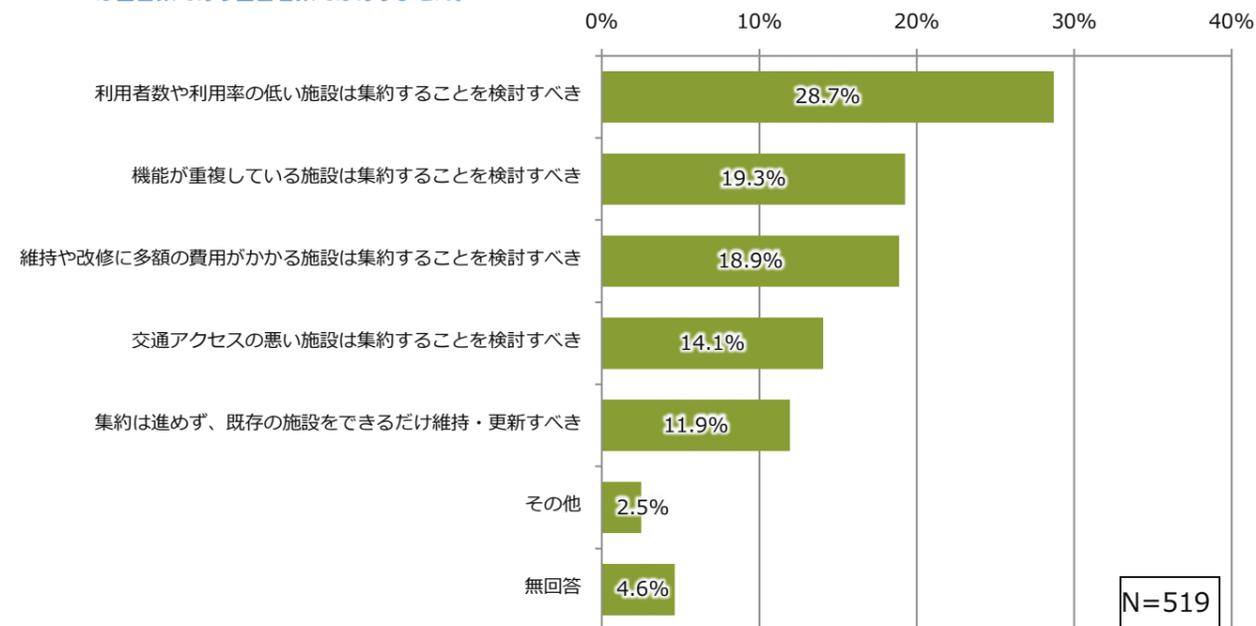
【問6】一宮地区において、施設の集約を検討する場合、どのような考え方がよいか

※「1つを選んで○印をつけてください」としていた設問ですが、複数に○をつけて下さった回答者がいるため、この設問のNの値は回答数であり回答者数ではありません。

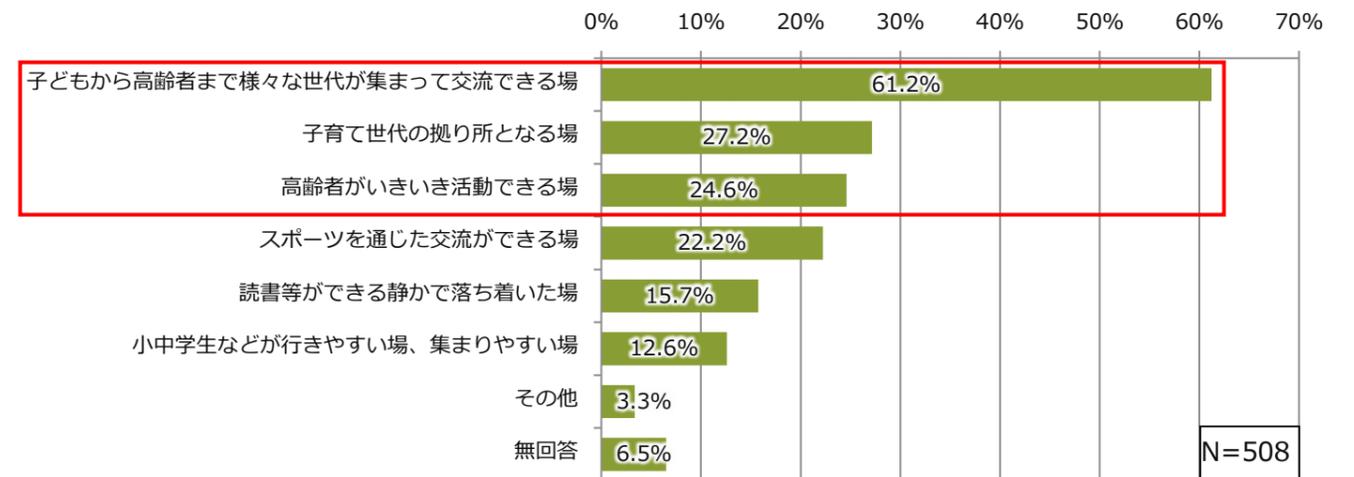


【問7】一宮地区において、施設の集約を検討する場合、どのような施設から優先的に集約していくべきか

※「1つを選んで○印をつけてください」としていた設問ですが、複数に○をつけて下さった回答者がいるため、この設問のNの値は回答数であり回答者数ではありません。



【問8】将来、一宮地区の活動と交流の拠点となる新しい複合施設ができるとしたら、どんな場所になれば良いか〈複数回答〉



【問9】将来、一宮地区の活動と交流の拠点となる新しい複合施設ができるとしたら、“人が集い、市民交流を促す場”となるために、どんな機能やサービスがあると良いと思うか。

〈自由記述〉

※重複した意見のみ記載

(交通・アクセス)	交通機関の充実・アクセスし易くする	21
	広い駐車場	10
(公共施設等)	交番	16
	図書館	15
	イベントホール・文化会館	14
	子育て相談室・健康相談・悩み相談窓口	11
	市民が交流できる場所（例：高齢者と子どもと一緒に遊ぶ、など）	10
	市役所・支所の機能	9
(飲食・休憩する場所)	喫茶店・カフェ・飲食店	62
	ひと息つける場所、おしゃべりできる場所（机といす）	10
	低価格の食堂（軽食が食べられる場所）	10
(商業施設)	買い物できる場所・スーパー・ショッピングモール・デパートなど	25
	産直市場（地元のを販売）	10
(スポーツ・レジャー)	屋外施設 （遊歩道、ウォーキング、川遊び、水遊び、芝生広場、キャンプ場、大規模公園・アスレチック、ジョギングコースなど）	36
	屋内施設 （体育館、スポーツ施設、ジム・プール・ヨガ教室、室内アスレチック、温水プール、など）	30
	子どもが遊んで学べる施設 （安心して遊ばせられる場所、思いっきり体を動かせる場所、大人から子供まで遊べるなど）	19
(災害時利用できる場所)	災害時の避難場所・シェルター	8

4. 自由意見

【問12】一宮地区の公共施設再編において、取り組むべきアイデアや提案等やその他の公共施設に関する意見 〈自由記述〉

◇一宮地区の公共施設再編パターンの検討に係る意見（抜粋）

【集約すべきという意見の例】

- 農業者トレーニングセンターと一宮体育センターは統合してもよいのではないか。
- 一宮地区内で公共施設は集約してもいいが、他の地域との集約はダメ。
- 再編対象施設の8施設は集約してもよいと思う。
- 一宮生涯学習会館、一宮図書館、いちのみや児童館は集約しても良いと思う。
- 大きい複合施設が一つできれば、人が集まり交流が出来ると思う。

【集約すべきでないという意見の例】

- いかまい館は集約化すべきでないと思う。多数の利用者と高齢者の心のよりどころとなっている。
- 既存の施設の有効利用。例えば一宮支所の空きスペースをいろいろ利用する。
- 今のままがよい。
- 人口も減少傾向にあるので、経費節減に努めるべき。ハコモノの設置はなるべく避けた方がよい。
- 中心部ばかり力入れず、周辺部をこれ以上ダメにするような政策をやめてほしい。

【その他再編についての意見の例】

- 児童館と図書館が同じ建物内にあると便利。
- 稼働率の高い施設は残し、そうでないものは集約化してよいと思う。
- 高齢者だけでなく若者の意見にも耳を傾けてほしい。若者が居たくない町になったら人口は減り続けてしまう。
- 周辺地域にも配慮が必要。中心地だけが良ければいいわけではない。
- 集約化する場合、現状の点在機能を何らかのコンセプトを打ち出して、個性色のある機能として再編してほしい。
- 不平等感がないものがよい。
- やたらに集約するのではなく、何が一宮に不足していて、何が満たされているのかを十分に検討していただきたい。

【交通に関する意見の例】

- 電車やバスの本数を増やす。交通機関を充実。
- 三河一宮駅の切符が無いシステムを改善してほしい（気軽に電車を利用したいと思えない）。
- 車社会ですが、高齢者が増える地域でもあるので、公共交通がもっと発達してくれば、車に乗れない世代でも利用が増えやすいと思う。運営費など課題は大きいですが、コミュニティバスの充実が利用のカギになると思う。
- 車に乗れなくなったら、買物難民になる心配がある。
- 交通手段がほしい。タクシーの高齢割引や、三輪バイクの普及など。
- どの公共施設も駐車場が狭いと思う。広くしたらどの施設も行きやすいと思う。
- 国道151号に横断歩道がもう少しあるとありがたい。（信号機のない横断歩道が増えるとありがたい）
- 巡回バスは乗客が全然いない。無駄な一宮地区路線は見直すべき。いかまい館中心な路線なので、年寄りしか乗っておらず若者が乗りにくい。飯田線と乗り換えしやすい路線にしてほしい。ジャンボタクシーよりも車長の短いバスの方が乗りやすい。

【地域に関する意見の例】

- 公共施設ではないが、砥鹿神社周辺も三河一宮駅から砥鹿神社までの道（歩道）を石畳にするなど参道っぽくして雰囲気を持たせてほしい。
- 特に南部・東部地区の古いしきたりをもう少し考えてほしい。これでは新しく（住民が）増えるどころか減る一方。
- 今はコロナウィルスで大変だが、新城では軽トラ市、豊川ではほいとも祭りがある。一宮でも砥鹿神社があるので一宮町地区のお店が活動できるお祭りなどが出来る場所がほしい。
- 一宮町として誇れる施設がよい。よくある施設はつまらない。一宮町に人が住みたいと思う場所を作ってほしい。
- 全国でモデルになるような施設、ドラマや映画のワンシーンの舞台を作ってほしい。豊川はキツネだけではない物を作ってほしい。

一宮地区の公共施設に関する利用者アンケートについて

一宮地区の公共施設に関する利用者アンケート結果の概要は以下のとおりです。

対象	下記対象施設利用者(年齢、性別問わず)	
対象施設	一宮支所、一宮生涯学習センター、一宮図書館、いちのみや児童館、一宮体育センター・農業者トレーニングセンター	
方法	留め置き方式 及び 配布方式	
期間	令和3年6月4日～6月30日	
項目	1. あなた(回答者)について 3. 各施設の良い点、悪い点について	2. 各施設の利用状況について 4. 一宮地区の公共施設が一つの新しい施設になる場合について
回答数	一宮支所 一宮生涯学習センター 一宮図書館 いちのみや児童館 一宮体育センター・農業者トレーニングセンター (うち一宮体育センター) (うち農業者トレーニングセンター) 合計	31票 23票 109票 35票 24票 (3票) (21票) 222票

3. 各施設の良い点/悪い点について

- サービスについては、特にいちのみや児童館及び一宮図書館において子供の遊びの内容や蔵書の数及び内容など、施設が提供しているサービス内容についての意見が多く見られました。
- 施設については、建物や駐車場の広さについての意見が多く、新しい施設において、**利便性及び快適性を向上させるためには必要なスペースを慎重に検討する必要があります。**
- 環境については、一宮生涯学習センターや一宮図書館の回答者から静かであることが良い点として多く挙げられており、**交流を促進しながらも、静かでゆっくりと利用できる環境にも配慮**していく必要があることがわかります。
- 立地については、家から近いことを良い点としている意見が多く、**アクセスのしやすさが利用に大きく影響**していることがわかりました。

対象施設	良い点	悪い点
一宮支所	サービスに関しては職員の対応 など 施設に関しては 施設や駐車場の広さ など 環境に関しては混雑していないこと など 立地に関しては アクセスしやすい点	施設に関しては建物の古さや 駐車場の狭さ
一宮生涯学習センター	施設に関しては 諸室の広さ など 環境に関しては 静かであること など 立地に関しては アクセスしやすい点	施設に関してはトイレの古さ など
一宮図書館	サービスに関しては蔵書や展示方法 など 施設に関しては 適度な広さ など 環境に関しては 静かであること など 立地に関しては アクセスしやすい点	サービスに関しては蔵書の少なさ など 施設に関しては 広さ など
いちのみや児童館	サービスに関しては子供が遊べるサービス など 施設に関しては 広さや快適さ など 立地に関しては アクセスしやすい点	施設に関しては 駐車場の狭さ など
一宮体育センター	サービスに関しては利便性	—
農業者トレーニングセンター	施設に関しては広さなど、立地に関しては アクセスしやすい点	施設に関しては建物の暗さや古さ など

4. 一宮地区の公共施設が一つの新しい施設になる場合について

新しい施設に期待する交流・活動について

- 新しい施設で期待する交流・活動としては、各施設がこれまで提供しているサークル活動やスポーツなどだけでなく、人が集まり賑わいを生み出すようなイベントの開催や、友人・同世代、親子・家族、多世代での様々な交流についての意見が多くあり、**地域コミュニティの拠点としての交流・活動が強く望まれている**ことがわかりました。

対象施設	新しい施設に期待する交流・活動について
一宮支所	イベントの開催、サークル活動、 多世代交流 など
一宮生涯学習センター	イベントの開催、サークル活動、スポーツ、展示 など
一宮図書館	サークル活動、勉強や読書、憩いの場、 友人・同世代との交流としての利用 など
いちのみや児童館	スポーツや体験活動などの活動や 友人や親同士の交流 など
一宮体育センター	地域住民の交流 など
農業者トレーニングセンター	定期的な運動の場としての利用 など

新しい施設をより快適で便利に利用するために必要と思われる機能・スペース

- 再編対象施設で従来から行われているスポーツ、サークル活動等のスペースに加え、**長時間の利用ができるスペース、交流の場として飲食ができるスペース、人が集まりゆっくり過ごすことができるような快適なスペース**についての意見が多く見られました。
- 子供が安心・安全にのびのびと過ごせるとともに、高齢者にも居心地のいい施設とするなど、**多世代の交流拠点としての機能・スペース**を望む意見も多くありました。

対象施設	新しい施設をより快適で便利に利用するために必要と思われる機能・スペース
一宮支所	スポーツができるスペース、各種活動ができる部屋、 子供が安心・安全に過ごせるスペース など
一宮生涯学習センター	スポーツができるスペース、情報コーナーの充実 など
一宮図書館	ゆっくり過ごすための飲食スペース 、様々な活動のための部屋、 子供が集まれるスペース 、 居心地のいい憩いの場 としてのスペースや機能 など
いちのみや児童館	体を動かして遊ぶことができるスペース、 子供が遊んだり体験活動をするスペース など
一宮体育センター	仕事のできるスペース など
農業者トレーニングセンター	十分な駐車場 、エレベーターなどバリアフリーへの対応 など

再編対象施設の課題等

No.	施設	機能	建築年 (築年数)	延床面積 敷地面積 構造	利用状況※、運営形態 ※詳細は参考資料4を参照	課題
1	一宮庁舎 (設計:(株)中 神設計事務 所)	 <ul style="list-style-type: none"> 一宮支所 上下水道部 道路河川管理課東部道路維持グループ 	1973 (築47年)	4,403.51㎡ 13,347.84㎡ RC造	年間利用者数:22,000人(2018年度) 支所職員:12人 上下水道部職員:63人+委託業者15人 道路河川管理課職員:8人 運営形態:直営	<ul style="list-style-type: none"> 支所庁舎の中で最も築年数が古く、劣化が進んでいる 旧議場や委員会室等は活用が困難なため空きスペースとなるなど余剰施設となっている 市民サービスの充実と行政機能の強化に向けて、上下水道部等の本庁舎周辺への集約化を検討する必要がある
2	一宮生涯 学習会館 (設計:(株)篠 田川口建築事 務所)	 <ul style="list-style-type: none"> 会議・集会スペース (貸出施設:舞台、集会室、 教養娯楽室2室、展示ホー ル、談話室2室) 図書館 	1987 (築33年)	1,886.1㎡ 4,011㎡ RC造	年間利用者数:37,528人 利用率(利用コマ数/利用可能コマ数): 23%(4,570/20,020)(2018年度) (うち集会室・舞台33%、その他室等の平均20%) 蔵書数:31,571冊(2018年度) 貸出冊数:55,921冊(2018年度) 運営形態:直営	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化が進んでいる 生涯学習会館及び図書館が都市機能誘導区域に誘導する施設として位置づけられているが、現在は当該区域の外に立地している 利用率が低く施設の有効利用が求められる 会議・集会スペースの機能が地域内で重複している
3	いちのみや 児童館 (設計:(株)近 藤建築事務所)	 <ul style="list-style-type: none"> 児童館 	1991 (築29年)	217.1㎡ 617.11㎡ S造	年間利用者数:12,976人(2018年度) 運営形態:直営	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化が進んでいる 駐車場が狭小
4	一宮体育 センター (設計:岩崎設 計事務所)	 <ul style="list-style-type: none"> 体育施設 (貸出施設:体育館) 	1983 (築37年)	913.83㎡ 1,366.37㎡ S造	年間利用者数:21,558人(2018年度) 利用率(利用コマ数/利用可能コマ数): 64%(5,994/9,334)(2018年度) 運営形態:指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化、劣化が進んでいる 体育施設の機能が農業者トレーニングセンターと重複している 地域住民のうち市内の体育施設を利用している人の割合が低い。(中学校区別の体育施設の利用状況が他エリアとの比較して低い。「公共施設の利用状況・住民意識アンケート結果」より)
5	農業者ト レーニン グセン ター (設計:(株)三 橋建築設計事 務所)	 <ul style="list-style-type: none"> 体育施設 会議・集会スペース (貸出施設:体育館、舞台、 営農相談室、調理実習室、 和室、研修室、会議室2室、 視聴覚室) 	1985 (築35年)	1,989.9㎡ (一宮庁舎の敷地 内) RC造	年間利用者数:58,914人(2018年度) 利用率(利用コマ数/利用可能コマ数): アリーナ: 53%(4,998/9,334)(2018年度) アリーナ以外: 12%(4,503/37,336)(2018年度) 運営形態:指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化が進んでいる 体育施設、会議・集会スペースの機能が地域内で重複している 地域住民のうち市内の体育施設を利用している人の割合が低い。(中学校区別の体育施設の利用状況が他エリアとの比較して低い。「公共施設の利用状況・住民意識アンケート結果」より)
6	健康福祉セ ンター(い かまい館) (設計:(株)創 建)	 <ul style="list-style-type: none"> 保健センター 高齢者入浴施設 会議・集会スペース (貸出施設:会議室6室、研 修室3室、ボランティア室、 世代間交流室、調理実習室) 東部高齢者相談センター一 宮出張所 	2000 (築20年)	3,703.0㎡ 12,743.7㎡ RC造	年間利用者数:67,695人(2018年度) 会議・集会スペース利用率(利用コマ数/利用可能コマ数): 7%(516/7,224)(2017年度) 運営形態:指定管理者	<ul style="list-style-type: none"> 施設は新しいが、交通利便性が低い 会議・集会スペースの利用率が低く、施設の有効利用が求められる 会議・集会スペースの機能が地域内で重複している

※網掛けは稼働率50%以上の施設を示す

再編対象施設一覧（前ページからの続き）

No.	施設	関連計画での記述内容	住民の声 (アンケートの主な意見)	再編の方向性
1	一宮庁舎	<p><豊川市公共施設適正配置計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 分散している組織（上下水道部）の本庁への集約化または本庁舎周辺の他の施設への移転を検討する （施設再編のイメージ）一宮庁舎、農業者トレーニングセンター、一宮生涯学習会館等の機能統合により、一宮エリアを対象とする活動と交流の拠点を形成する 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が古く、暗い。 近いので便利。市役所に行かなくても必要な手続きができる。 市役所でないとできないことがある。 駐車場が広い。 	<ul style="list-style-type: none"> 支所機能を除く行政機能（上下水道部等）は、本庁などへの集約化を推進する 支所機能については、他機能との複合化を検討する
2	一宮生涯学習会館	<p><豊川市立地適正化計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 一宮生涯学習会館、図書館は都市機能誘導区域内への誘導が求められる <p><豊川市公共施設適正配置計画></p> <ul style="list-style-type: none"> コミュニティ施設の適正配置の推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が狭く老朽化している。 静かな環境で利用できる。 いろいろな用途で利用でき便利。 近くて便利。 庁舎から遠い。 図書が少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他のコミュニティ施設との集約化、複合化等を検討する コミュニティ施設においては、利用率等を考慮し、必要となる規模を検討する 図書館は、拠点施設に複合化を検討する
3	いちのみや児童館	<p><豊川市公共施設適正配置計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 児童館についてはリーディング事業の中で他のコミュニティ施設への複合化等を検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにとって良い施設 駐車場が狭い。 建物が狭い。 	<ul style="list-style-type: none"> 他の施設への集約化や移転、複合化等が考えられるが、どの施設との複合化が適切かを含めて検討する
4	一宮体育センター	<p><豊川市公共施設適正配置計画></p> <ul style="list-style-type: none"> エリア内で機能重複している体育施設の集約を推進 体育施設の統合等の検討については、近接する学校体育館との集約化も検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が老朽化し、暗い。 駐車場が狭い。 安く利用しやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 一宮エリア内での体育施設の機能重複を解消するため、施設の統合等を検討する。その際、近接する中学校体育館との関係性等も含めて検討する。 体育施設については、利用率や利用状況等を考慮し、必要となる規模や使い方を検討する。
5	農業者トレーニングセンター	<p><豊川市公共施設適正配置計画></p> <ul style="list-style-type: none"> エリア内で機能重複している体育施設の集約を推進 コミュニティ施設の適正配置の推進が必要 	<ul style="list-style-type: none"> 建物が老朽化している。 安く利用しやすい。 体育館をはじめ色々なことに利用できる。 広い（イベントや大会ができる）。 駐車場が広い。 近くて便利。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育施設については、一宮エリア内での機能重複を解消するため、施設の統合等を検討する。 体育施設については、利用率や利用状況等を考慮し、必要となる規模や使い方を検討する。 コミュニティ機能については、他のコミュニティ施設との集約化、複合化を検討する コミュニティ施設の総量の検討においては、将来的な利用率等を考慮する
6	健康福祉センター（いかまい館）	<p><豊川市公共施設適正配置計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 躯体の長寿命化を図るとともに、スペースの効率的・効果的な活用を図る 地域での保健活動の継続を前提に、各施設における機能の見直しを図り、他用途への転用や複合的利用など有効な活用を検討する 高齢者相談センターは、日常生活圏域毎に置かれていることから、現在の状況によっては、配置場所の検討を行っていく <p><豊川市高齢者福祉計画></p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者相談センターについては、施設再編計画に併せ、高齢者相談センターと出張所の配置についても検討し、機能強化を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 遠く、車がないといけない。 入浴施設は不必要。 温泉に入れるのがよい。 建物が新しく明るいので気持ちいい。 高齢者に必要。 支所内にあった方が福祉・介護手続き等まとめて相談できるのではないか（東部高齢者相談センター） 存在を知らない（東部高齢者相談センター） 	<ul style="list-style-type: none"> 施設の有効な活用を検討するため、複合的利用などの可能性を検討する 高齢者相談センターは、利用状況などを勘案し、配置の適切性を検討し、必要に応じて今回の検討の対象とする

一宮地区公共施設再編整備基本計画 検討スケジュール

	基本計画策定委員会	市民参画	庁内会議
7月	第1回策定委員会 (7/29) 本年度の検討内容、再整備プラン		第1回 FM 推進部会 (7/13-14) 関係課ヒアリング (導入機能・規模)
8月		第1回ワークショップ (8/17) 新しい施設のイメージ	第2回 FM 推進部会 (8月中旬) (プランチェック①)
9月		第2回ワークショップ (9/7) 施設の利用イメージ	第3回 FM 推進部会 (9月中旬) (プランチェック②)
10月	第2回策定委員会 (10月上旬) 基本計画骨子案 (プラン案・概算事業費)		
11月	第3回策定委員会 (11月中旬) 基本計画素案 (設計業務要件整理)	住民説明会① (11月中旬) 基本計画骨子・プラン案	第4回 FM 推進部会 (11月上旬) 基本計画素案 (設計業務要件整理)
12月			第5回 FM 推進部会 (12月中下旬) 基本計画案
1月	第4回策定委員会 (1月中旬) 基本計画案	住民説明会② (1月中旬) 基本計画案	

え！一宮に
新しい公共施設が
できるの？

あの『こざかい葵風館』
みたいな感じ？

気になる...
行ってみようかな

どんな施設に
なるんだろう？

わたしたちも
一緒に考えれる機会が
あるんだって

支所

体育館

生涯
学習

児童館

図書館

参加者
募集

一宮の 新しい公共施設 について みんなで考えよう

【第1回】

8月17日(水)
18:30~

『新しい施設のイメージ』

【第2回】

9月7日(水)
18:30~

『施設の利用イメージ』

■目的

一宮地区にできる新しい公共施設について、市民のみなさまとともに進めていくため、本ワークショップにて、みなさまの声をお聞きし、今後の検討材料とします。

■場所

一宮生涯学習センター（予定）

■参加対象

市内に在住する16歳以上（令和4年8月1日現在）の方で、原則2回とも参加可能な方

■募集人数

20名程度（応募多数の場合は選考のうえ、結果を郵送でお知らせします）

■申し込み方法

下記①もしくは②の方法でお申込みください。

①応募用紙に必要事項を記入のうえ、豊川市財産管理課へ（1）、（2）いずれかで申込み

（1）**Eメール** 宛先：zaisan@city.toyokawa.lg.jp

ホームページ検索

（2）**郵送**もしくは**持参**

豊川市 一宮 公共施設



※応募用紙は以下の施設にて配布しているほか、豊川市HPからもダウンロードできます。
市役所（本庁舎ロビー、北庁舎3階財産管理課）、一宮支所、一宮生涯学習センター、いちのみや児童館、農業者トレーニングセンター、健康福祉センター（いかまい館）

※郵送の場合、7月15日（金）の当日消印は有効とします。



②**あいち電子申請システム**

QRコードはこちら

■申込み・問合せ先

〒442-8601 豊川市諏訪一丁目一番地 豊川市役所 財産管理課（公共施設マネジメント係）

TEL：0533-89-2108 / E-mail：zaisan@city.toyokawa.lg.jp

※裏面もご覧ください→

締切
令和4年
7月15日
(金)

(参考事例)

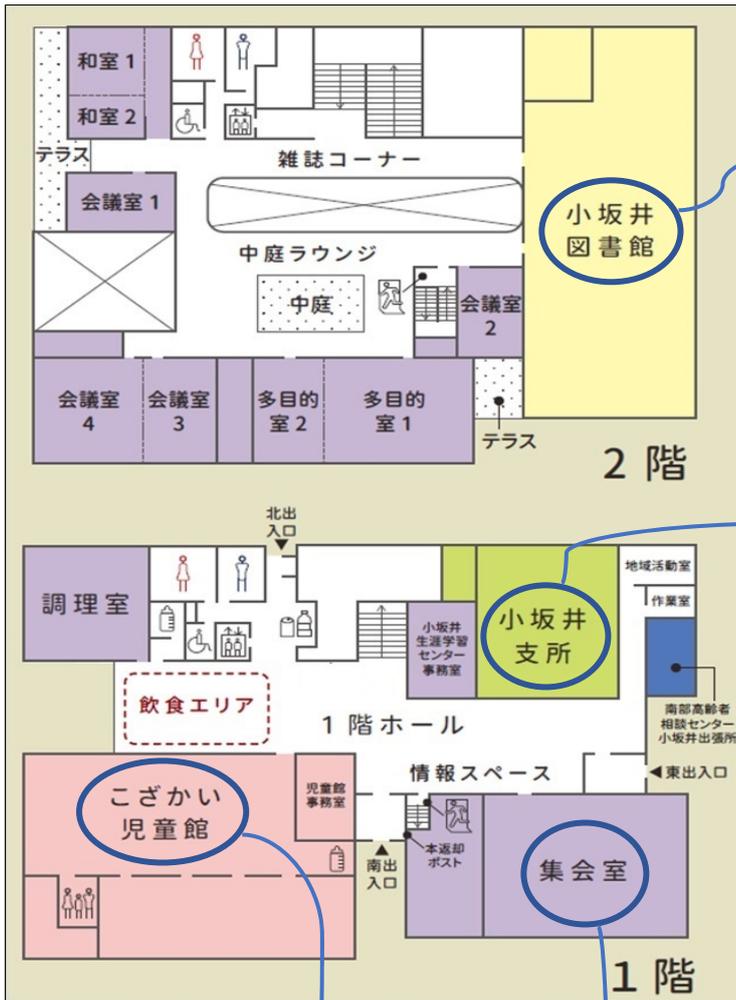
こざかい葵風館

2021年5月OPEN!!

新しい公共施設
(複合施設)って
どんなもの?



©いなりん



木のぬくもりを感じ
ながら、本や雑誌を
読めるだりん☆



市の身近な窓口として
利用できるだりん☆



18歳までの子どもと保護者が
利用できる遊びの場だりん☆



各種講座、サークル活動、
会議など、様々な貸部屋が
あるだりん☆

一宮地区公共施設再編検討にかかる住民ワークショップ 構成（案）

一宮地区の公共施設再編検討の地元住民等によるワークショップ（2回）の構成案を以下に示します。

【第1回ワークショップ】

目的 テーマ	テーマ：「一宮地区の将来の公共施設のあり方についてみんなで考えよう！」 ① 一宮支所周辺地区の公共施設再編について、基本構想のおさらいも含めて整理する ② 市民が行きたくなるような公共施設について皆で考える。
-----------	--

段階	項目	内容	時間	担当
準備	設営・受付	<ul style="list-style-type: none"> ● スタッフ集合、会場設営（市・LB） （受付、机の配置、ホワイトボード準備、パソコン等の接続、マイク等の配線、平面図、プログラム等貼出し） ● 事前打ち合わせ（スケジュール等の最終確認） ● 受付（市） 	60分	市・LB
	① あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ● 開会のあいさつ ● スタッフ紹介（市・LB） 	5分	市
WS① (120分)	② ワークショップの目的とスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップの目的／全2回の流れ ● 本日のスケジュール 	5分	市
	③ 一宮地区における公共施設再編の概要と今後の進め方	<ul style="list-style-type: none"> ● 一宮地区における公共施設再編の概要 ● 今後取り組んでいくことの説明 	5分	市
	④ 計画地の現況について	<ul style="list-style-type: none"> ● 一宮地区における公共施設の現況 ● 再編対象施設の現状機能 	5分	市
	⑤ 基本構想について	<ul style="list-style-type: none"> ● 再編パターン、対象敷地内でのゾーニング案 	5分	市
	⑥ ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ● アイスブレイク（参加者の緊張をほぐすレクリエーション） 例）旗揚げアンケートによる今の気持ち、ワークショップへの意気込み、期待等 ● ワークショップの説明/ルール/成果目標 ● 新しい機能やサービス／一宮地区のまちの将来像等 ※ 適宜トイレ休憩 	75分	LB
	⑧ グループ発表と今回のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 各グループで出た意見の発表（3～5分程度/班） ※ 参加者又はグループファシリによる発表 ● 本日の全体まとめ 	15分	LB (参加者)
	⑨ おわりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ● 終わりのあいさつ／次回の予定 ● ひとことアンケートの記入・回収 	5分	市

【第2回ワークショップ】

目的 テーマ	<p>テーマ：「一宮地区の公共施設の再編プランや活用イメージについて考えよう！」</p> <p>① 前回の WS の結果をふまえ再編施設における機能間の交流やアイデアを考える ② 地域での活動やイベント、管理運営などについて検討する ③ 計画敷地における現状と利用方針についての意見出し</p>
-----------	---

段階	項目	内容	時間	担当
準備	設営・受付	<ul style="list-style-type: none"> ● スタッフ集合、会場設営（市・LB） （受付、机の配置、ホワイトボード準備、パソコン等の接続、マイク等の配線、平面図、プログラム等貼出し） ● 事前打ち合わせ（スケジュール等の最終確認） ● 受付（市） 	60分	市・LB
WS② (120分)	①ワークショップの目的とスケジュールについて	<ul style="list-style-type: none"> ● ワークショップの目的／全2回の流れ ● 本日のスケジュール 	5分	市
	②前回のおさらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 一回目のワークショップの様子 ● 皆さんから頂いた意見のまとめ ● ひとつアンケートの内容 	5分	市
	③ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ● アイスブレイク（参加者の緊張をほぐすレクリエーション） 例）旗揚げアンケートによる今の気持ち、ワークショップへの意気込み、期待等 ● ワークショップの説明/ルール/本日の成果目標 ● ワークショップ ①前回の WS の意見をふまえ、機能間の交流を意識したアイデア出しを行う ② 地域活動やイベント、管理運営についてのアイデア出し ③計画敷地における現状と利用方針についての意見出し（適宜トイレ休憩） 	90分	LB
	④グループ発表と今回のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 各グループで出た意見の発表（3～5分程度/班） ※参加者又はグループファシリによる発表 ● 本日の全体まとめ 	15分	LB (参加者)
	⑤おわりのあいさつ	<ul style="list-style-type: none"> ● 終わりのあいさつ／次回の予定 ● ひとつアンケートの記入・回収 	5分	市

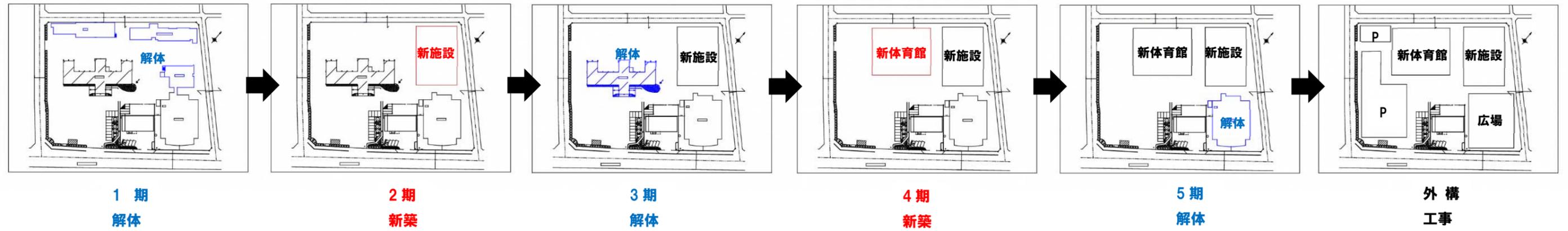
一宮地区公共施設再編整備ゾーニング・プラン案の比較検討資料（基本構想の新施設ゾーニングを具体化）

パターン	パターンA		パターンB		パターンC	
ゾーニング						
建物更新の順序	○	老朽化が進む庁舎施設を早期に更新	○	老朽化が進む庁舎施設を早期に更新	△	比較的新しい体育館を早期に更新
ゾーニング 建物配置	○	敷地北側に新施設・新体育館を配置 南側にオープンスペース（広場、駐車場）を配置	○	敷地南西側に新施設・新体育館を配置 北東側にオープンスペース（広場、駐車場）を配置	○	敷地北東側に新施設・新体育館を配置 南西側にオープンスペース（広場、駐車場）を配置
既存機能継続性	△	支所機能・体育機能ともに継続利用可 旧体育館の事務所棟のみ早期解体（要移転） 第2工期まで公用車駐車場を確保する必要あり	○	支所機能・体育機能ともに継続利用可 利用者駐車場の確保に留意が必要	△	支所機能・体育機能ともに継続利用可 旧体育館の事務所棟のみ早期解体（要移転） 第2工期まで公用車駐車場を確保する必要あり
設計の自由度	○	新施設：2階建てから計画できる 新体育館：比較的自由に配置ができる	△	新施設：平面的制約がある（2階建ては計画できない） 新体育館：比較的自由に配置ができる	△	新施設：2階建てから計画できる 新体育館：建物配置が限られる
駐車場	△	現状の7割程度の駐車場を確保可能	○	現状と同等規模の駐車場を確保可能	○	現状と同等規模の駐車場を確保可能
広場	○	駐車場と分離してスペースを確保可能	○	駐車場との兼ね合いでスペースを確保可能	○	駐車場との兼ね合いでスペースを確保可能
工期	△	5期	○	4期	△	5期
総合評価						

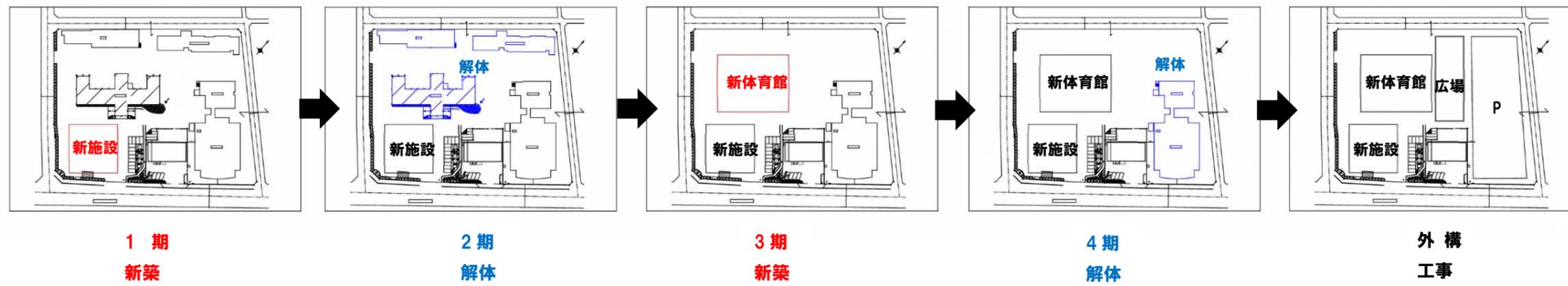
○条件

- ・ 工事期間中であっても庁舎機能、体育館機能ともに継続的に利用できる状態を確保する（機能を利用できない期間を設けない）
- ・ 機能移転は対象敷地内で完結することを基本とし、仮設建物を要しないようにする。
- ・ ただし、現庁舎に所在する上下水道部は旧保健センター（R8年度末より使用可）に移転するものとする。
- ・ 工事期間中であっても一定数の駐車場を確保する（来客用・職員用駐車場、工事車両）

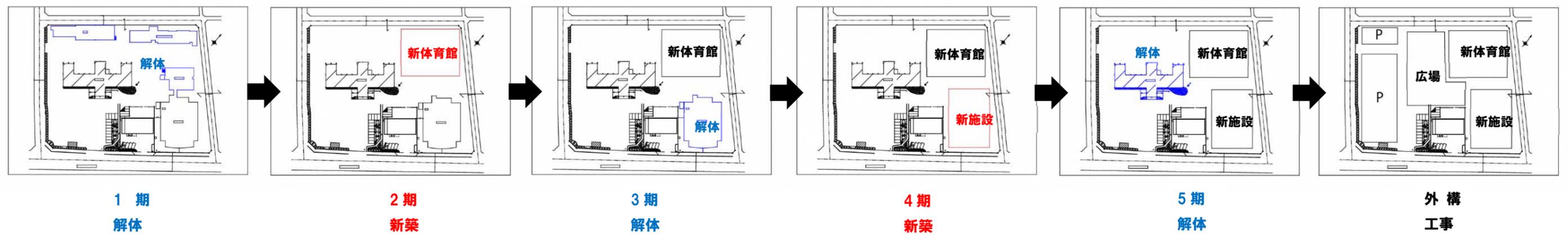
【パターンA】



【パターンB】



【パターンC】



豊川市一宮地区公共施設再編整備業務 整備パターンと事業スケジュールの関係性

	R4	R5	R6	R7		R8		R9	R10	R11		
パターンA	基本計画	基本設計	実施設計	事業者選定	解体	新施設新築		移転	新庁舎（複合施設）利用開始 上下水道部⇒旧保健センターへ移転			
				(旧庁舎を継続使用)				旧庁舎解体	新体育館新築	移転	新体育館利用開始	
				(旧体育館を継続使用)							旧体育館解体	外構工事
パターンB	基本計画	基本設計	実施設計	事業者選定		新施設新築		移転	新庁舎（複合施設）利用開始 上下水道部⇒旧保健センターへ移転			
							旧庁舎解体	新体育館新築	移転	新体育館利用開始		
									旧体育館解体	外構工事		
パターンC	基本計画	基本設計	実施設計	事業者選定	解体	新体育館新築		移転	新体育館利用開始			
							旧体育館解体	新施設新築	移転	新庁舎（複合施設）利用開始 上下水道部 ⇒旧保健センターへ移転		
									旧庁舎解体	外構工事		
【参考】 総合保健センター	基本設計	実施設計	施工（総合保健センター）			総合保健センター利用開始						
			(旧保健センター)			改修	旧保健センター再利用（上下水道部）					

施設整備に関する基本的な考え方
—公共施設を新設するにあたってのトレンドワード—

(ア) 景観デザイン

- 木材の使用（地域産材の活用促進）
- 緑化や植栽等による潤いを感じる開放的な空間の創出

(イ) ユニバーサルデザイン（誰もが利用しやすい空間づくり）

- 階段や通路、エレベーターなどの移動空間における配慮
- トイレなどの行為空間における配慮
- 誰もが利用しやすい駐車場の確保、施設までのアクセス性の向上

(ウ) 防災・減災対策

- 耐震性能の確保
- 津波・浸水被害の抑制
- 復旧活動の迅速化・円滑化（業務継続計画）
- 地域の避難所としての機能

(エ) 環境への配慮

- 環境負荷の低減
- 自然エネルギーの利用、エネルギー・資源の有効利用
- 脱炭素社会、カーボンニュートラル
- ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）
- エコマテリアル

(オ) 施設整備/管理への市民参画

- 計画・設計・運営の各段階における市民参画
- 民間企業の資金やノウハウを活用し、質の高い公共サービスの提供
(例：指定管理制度を導入することで、公共サービスの向上を目指す)

(カ) 各施設の連携

- 施設・空間の多目的利用・共用化
- 多世代・多様な住民が集まり活動できる交流・コミュニティスペースの確保
- 外部空間や周辺施設との連携

(キ) その他

- DX（デジタル・トランスフォーメーション[デジタル化]）
- デジタル社会への対応
- 建物・設備機器等の長寿命化
(例：ライフサイクルコスト[建築物の場合、建物の企画設計～解体されるまでのトータル費用]の低減化)